

# 豊栄広報

第78号

発行所  
新潟県北蒲原郡  
豊栄町役場

印刷所  
下越出版社  
新潟市本町2電2234

町のシオリ

人口	31,655人
男	15,319人
女	16,336人
人口密度 (1km <sup>2</sup> 当り)	415人
世帯数	5,773世帯
家族一世帯当り	5.5人
面積	76.35平方キロ
一40年10月1日現在	一

## 建設農道に間に農道建設

沿線には集荷場なども計画  
三年継続で実施

農免道路(農林漁業用揮発油税財源見替わり整備事業)の起工式が、十二月二十五日、内島見の工事現場で行なわれました。

これは、農林漁業用のガソリンに課税されているガソリン税軽減の身替わりとして国が事業費を補助して農道などを整備するものです。

昭和四十年度は、県内で六カ所がこうした事業として認定されました。

このたび実施するところは内島見地内の国道七号線と新潟競馬場道路が接続するところから、芋黒部落を経て葛塚

農免道路(農林漁業用揮発油税財源見替わり整備事業)の起工式が、十二月二十五日、内島見の工事現場で行なわれました。

これは、農林漁業用のガソリンに課税されているガソリン税軽減の身替わりとして国が事業費を補助して農道などを整備するものです。

事業として行なわれます。今年度分の事業費は一千七百万円です。

将来この道路の沿線に集荷場、ライスセンター、あるいは大型農業機械の格納庫などを設ける計画もあり、町の中心部から国道に通ずる道路の新設という面でも期待が寄せられています。

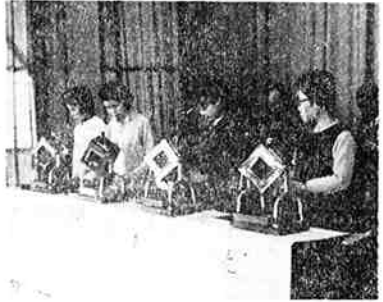
松田さん再選  
町の固定資産評価審査委員会委員の松田仁一郎さん(鳥屋)は、一月二十八日に任期満了となりますが、二月十五日に開かれた町議会で、再選がきましました。

ねずみ退治  
四一、八〇五匹

個人では高橋さんがトップ  
町のねずみ退治の結果は、四万一千八百五匹でした。これは前年の結果よりも約一万一千匹多く、一世帯当りにして七・二匹を捕えた計算になります。成績のよかった下土地亀自治会は、果知事から表彰されました。また個人では二百匹を捕えた浦木の高橋寅吉さんが最高でした。

一月二十二日中央公民館でねずみ祭りが開かれ(写真)成績のよかった下土地亀、上土地亀、新鼻甲二、棟、高森新田、里飯野の六つの自治会が、町民の健康を守る会から表彰されました。なお個人では百匹以上捕えた高橋寅吉さんほか十七人には、果から努力賞が贈られました。

豊栄町ねずみとり抽選券  
当選番号



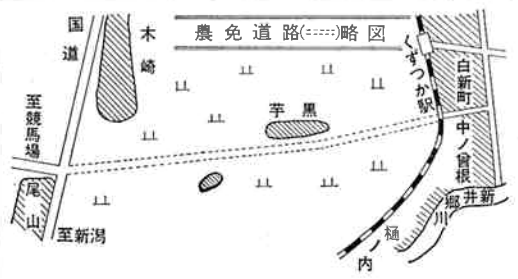
### 四力町村で清掃センター

許可を得て新年度に着工

豊栄町と水原町、笹神村、京ヶ瀬村の四力町村でし尿の共同処理施設をつくるために一部事務組合をつくることになりこのほど県知事から許可されました。

し尿の処理は、現在農作物の肥料として農家へ還元する方法で処理されていますが、農家の需要がへっているため、この市町村でもこの衛生的な処理に頭を悩ましています。また衛生的な処理施設をつくるには、多額な経費が必要で、そこで、隣接しているこの四力町村で話し合った結果、共同でし尿処理のための施設をつくることになったのです。

この計画の内容は、豊栄町二万五千人、水原町一万六千



人、笹神村二千人、京ヶ瀬村二千人、合計四万五千人分のし尿を処理することのできる施設をつくりたい。この組合の名前は、「北蒲西南部清掃センター組合」とします。事業費の総額は約九千万円程度になる見込みです。また建設は、四十一年度と四十二年度の二カ年にわたって実施します。

組合が結成されるとその組合の議会で建設費用などの各町村の負担割合や、建設位置がきめられることになっています。

最近、いくつかの市町村が共同で事業を行なう例が多く出ていますが、いわゆる広域行政のあり方の一つとして各方面から注目されています。

特等 G組 〇〇〇五五二  
一等 C組 〇〇〇一四九四  
二等 H組 〇〇〇〇七五四  
三等 各組共通下四ケタ 四四四七、三三五〇  
〇九八  
四等 各組共通下二ケタ 五九、〇六、二二、〇七、六八  
賞品の引き換えは、二月末までです。抽選券をそえて役場へお申し出ください。